

# 事業報告書

## 令和4年度防災講座

### ①オンデマンド防災講座

### ②津波避難ワークショップ その時、あなたはどのようにしますか!?

令和4年度防災講座 ①オンデマンド防災講座 ②津波避難ワークショップ その時、あなたはどのようにしますか!?	
日時	①令和4年10月6日(金) 9:00~令和5年1月6日(金) 17:00 ②令和5年3月2日(木) 14:00~16:00
目的	①男女共同参画とは何か、防災・減災を考えると男女共同参画視点が何故必要なのかを考えた上で、気象のプロから防災気象情報を見るポイント、地質学的見地から沖繩に起こり得る災害等を学ぶ(令和3年度防災講座動画の再配信) ②具体的な場面を想定した避難行動を疑似体験し、グループでの話し合いを通して、津波の性質をふまえ周囲の状況を見ながら的確な避難行動をとれるよう自ら考えるきっかけをつくることを目的とする
対象	関心のある方(性別・年齢問わず)
主催	沖繩県・公益財団法人おきなわ女性財団
講師	①オンデマンド防災講座 第1部：上原 万里(公益財団法人おきなわ女性財団) 第2部：松田 博之氏(沖繩気象台 業務課 要配慮者対策係長) ②津波避難ワークショップ その時、あなたはどのようにしますか!? 講話：川村 優太氏(沖繩気象台 地震火山課 技官) ファシリテーター：根間 幸美氏(沖繩気象台 業務課 リスクコミュニケーション推進官) 解説・助言：吉岡 一郎氏(沖繩気象台 地震津波火山防災情報調整官)
開催場所	①YouTube(録画動画配信) ②沖繩県男女共同参画センター ているる3F 研修室1・2
受講者数	①申込者数：59名(再生回数：155回) ②26名(定員：30名)
講演内容(概要)	①オンデマンド防災講座 第1部で男女共同参画とはどのようなものか、災害時には男女共同参画視点が何故必要かを確認した上で、第2部では気象のプロである気象台の方から、多くの映像を交えながら、わかりやすく「台風」「地震・津波」「災害から命を守るために」についてご講話いただきました。 ②津波避難ワークショップ 受講者は、最初に「地震と津波のキホン」として、日本が地震大国であること、沖繩県での地震回数が日本国内で9位であること、地震・津波発生のしくみや特徴、地震や津波に対する対応の基本などを学びました。 続いて、グループ毎に地図上での避難シミュレーションを行いました。 シミュレーションは、ある晴れた穏やかな日、大人2人、高齢者1人、子ども1人のグループで「奥武山公園」あるいは「北谷町美浜付近」にいる時に大地震に見舞われるという設定です。地震発生から津波来襲まで、実際に想定されるタイミングで次々とスクリーンに表示される気象台からの情報をもとに、各グループで状況に応じてどう行動するかを話し合いによって判断し、地図上を移動し、意見等を記録しました。 約15分の避難シミュレーション後には各グループの到達地点と、想定される津波浸水域を重ね合わせた地図がスライドで映し出され、受講者はさまざまな感想を口にしていました。 グループ毎の発表後は、気象台専門家からの解説・助言として「避難時には要配慮者のことも気かけながら、自らの判断で自らの命を守るように、気象庁からの情報を聞いて正しい知識、行動を身につけてほしい。限られた時間の中では率先避難が重要。津波は発生頻度が低く経験では学べないことから今日のような訓練に積極的に参加し、周りの人と話し合うことがとても重要」と述べ、受講者は真剣に聴き入っていました。 ミニパネル展「考えよう！男女共同参画視点の防災」 会場後方では国・自治体、GDRR(減災と男女共同参画研修推進センター)、公益財団法人沖繩県国際交流・人材育成財団 国際交流課による男女共同参画視点の防災への施策や取り組みをパネル形式で紹介し、多様な視点で防災を考える必要性を伝えました。
参加者の声	(自由記載欄より抜粋) ①オンデマンド防災講座 ・普段の男女共同参画の推進が、災害時の対応力の向上につながり、また女性の視点で連携、協働体制を構築することが重要だと感じました。 ・やる気の差は結果の差、色々な事に繋がる素敵な言葉です。命に直結することを普段から意識する、備える事がとても大事だと改めて感じた。 ・気象情報について難しい部分もありましたが、見方がわかったので今後の災害時に活かそうと思いました。 ②津波避難ワークショップ ・具体的なシミュレートを行うことで、判断に迷うことや、他の方の意見等から新たな気づきがあり、大変有意義でした。 ・各地域で避難訓練が必要だと強く思いました。ワークショップとても良かったです！ ・実践の時、時間の経過と共にハラハラしながらみんなで考えることができました。楽しかったです。避難について考えるきっかけとなったし、周りの人たちにも声がけすることの大切さも感じました。
講座写真	    <p>河村技官      根間推進官      吉岡調整官による助言      講座風景</p>